

メインフレーム - UNIX/PCサーバ間のデータ移行を漢字コード変換とともに実行する

HMDE/KANJIソリューション

本格的なIT革命の時代を迎え、基幹系メインフレーム 情報系オープンシステム間の膨大なデータの相互移行ニーズが益々増大しています。日立では、このようなプラットフォームの壁を越えた、データ移行をスムーズに実現する日立マルチプラットフォームRAIDとHMDE(Hitachi Multiplatform Data Exchange)を提供しています。

その場合、データ移行と漢字コード変換などデータの一部を変換・編集するためにお客さまが個別にアプリケーションプログラムを開発する必要がありました。このような個別アプリケーションプログラム開発の手間を省くのが、日立ソフトウェアエンジニアリング㈱が提供する本ソリューションです。既存のメインフレームからUNIX/PCサーバへのデータ移行を漢字コード変換とともに実行するパッケージソフトHMDE/KANJIと付加サービスがソリューションとして提供されます。

優れた漢字サポート機能

HMDE/KANJIは、日立SANRISE2000シリーズをはじめ、XP512といったディスク装置をプラットフォームに活用したストレージエリアネットワークを介して、メインフレームとUNIX/PCサーバ相互間で漢字コードを含めた双方向データの変換を行うパッケージソリューションです。

主な特長は次のとおりです。

双方向データ移行を漢字コード変換とともに実現

日立ならびに、富士通、IBMの3社のメインフレームからUNIX/PCサーバ相互間へ、UNIX/PCサーバ相互間からメインフレームへという、双方向データ移行を漢字コード変換とともに実現します。3社によってメインフレーム側の漢字コードは異なりますがHMDE/KANJIのほうでメインフレームを意識した漢字コード体系をサポートしています。

優れたコストパフォーマンス性

HMDE/KANJIはサーバ側に搭載されるパッケージソフトです。それ以外にはメインフレームとUNIX/PCサーバ間には特別な変換用ソフトウェアは一切不要で、少ない導入コストで大きな効果が得られます。

高速にコード変換を実現

LAN(ローカルエリアネットワーク)を介さないで直接SAN(ストレージエリアネットワーク)を通して高速にコード変換を実現します。LANの帯域幅を使わないためLANの負荷軽減とデータの機密性、安全性の保持が図れます。

フィールド単位での漢字コード変換

メインフレームのデータベースファイルは、論理レコードの中をフィールド単位でフィジカルに操作してデータの属性を入手する仕掛けになっています。このため、データベースを移行する場合にはフィールド単位で非常にスムーズに漢字コードの変換ができます。

豊富なコード変換機能をサポート

日立のKEISコード、IBM漢字コード、富士通のJEFコードをサポート。漢字コード以外に数値コードや、さらにバイナリデータのように直接メインフレームからオープンシステムに移行する場合にコピーする機能、スキップ機能などきめ細かなコード変換機能をサポートしています。

パッケージとソリューションを提供

HMDE/KANJIは、パッケージソフトHMDE/KANJIと「システムコンサルティング」カスタマイズサービスや外字登録代行サービスを含めた「メインフレームデータ移行システムインフラ構築」導入後の保守支援の

ソリューションサービスが提供されます。

漢字圏のわが国では、漢字のサポートはコンピュータシステムに求められる不可欠な要件。従来型のパッケージソフトを使い、メインフレームからオープンシステムに基幹業務ファイルなど10Gバイト以上のデータ転送を行う場合、十数時間かかっていましたが、わずか1時間で処理できたという実績があります。

HMDE/KANJIは、SANRISE2000シリーズをはじめとするディスク装置をプラットフォームにメインフレームとオープンシステムとのデータ移行時間を大幅に短縮し、漢字コード変換をサポートします。さらにオープンシステムのデータも基幹データベースの方に戻すニーズに対してもファイバーチャネル経由で高速にできます。このような特長が高く評価され、既に発売開始以来2年半で200本以上の実績があります。プラットフォームの拡大とともにHMDE/KANJIに対するニーズは増大の一途にあると言っても過言ではなさそうです。

なお、本製品の詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

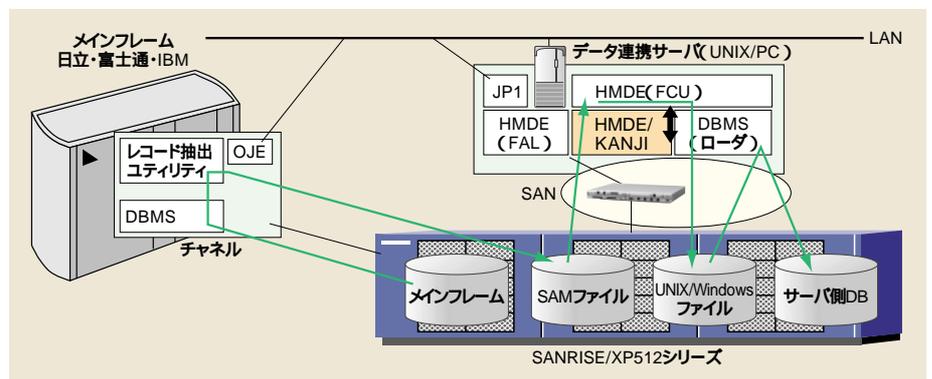


図1 HMDE/KANJIシステム構成

お問い合わせ先

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 開発本部 基本ソフト第3応用部 (株)日立製作所 システムソリューション事業企画本部

TEL(045)682 6311 FAX(045)682 6319

E-mail:tera@sar.hitachi-sk.co.jp

システム技術管理部 担当:石川

TEL(044)649-1224 FAX(044)649-1190 E-mail:f-app@itg.hitachi.co.jp